

## 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	土木建築部 公園・生活排水課
評価対象期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日

## 1 指定概要

施設概要	名称	ハーモニーパーク	施設種別	レクリエーション
	所在地	日出町大字藤原5933番地		
	設置目的	公共の福祉の増進に資すること。		
指定管理者	名称	株式会社サンリオエンターテイメント		
	代表者名	代表取締役 辻 信太郎		
	所在地	東京都多摩市落合1丁目31番地 (ハーモニーランド運営部:大分県速見郡日出町大字藤原5933番地)		
指定管理業務の内容	公園施設の維持管理及び修繕に関する事。 都市公園の利用の受付及び案内に関する事。 都市公園施設の利用の許可に関する事。 都市公園の利用の促進に関する事。 その他知事が特に必要と認める事。			
料金制度	利用料金 ・ 使用料 ・ 該当なし			
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日(5年間)			

## 2 評価結果

評価項目及び評価のポイント	配点	評価レベル	得点
1 施設の設置目的の達成(有効性の向上)に関する取組み	40		32
(1)施設の設置目的の達成	20	4	16
計画に則って施設の管理運営(指定管理業務)が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか(目標を達成できたか)。			
施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。			
複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。			
施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。			
【評価の理由】 4月に発生した熊本地震の影響で、平成28年度のハーモニーランドの入園者数は497,576人で平成27年度より53,534人減少したが、夏休み期間限定アトラクションの新設や新たなイベントの開催等を行い、年間利用者数目標数値の490,000人は達成した点は評価できる。 なお、ハーモニーランドを除いた公園部分(以下『フリーゾーン』という。)の利用者数の把握を平成26年度から試みているが、平成28年度は52,795人となっており、ハーモニーランドの入園者数の約11%である。 フリーゾーンをメイン会場として、4月、9月～3月にイルミネーションを実施している。県内の竹工芸職人に協力してもらい、公園内竹林・山林エリアの竹を用いた作品もイルミネーションの一部として展示しており、公園内の竹林・山林の利活用、PRにもつなげている。 またイルミネーションと関連した平成28年度の新たな取り組みとして、10月に仮装入場イベント(ハロウィンナイト)を開催し、仮装客のみの夜間入園で1,962名の集客があった。 イルミネーションの総来場者数は17,000人を超え、利用者獲得には欠かせない事業となっている。			

フリーゾーン内にあるフェスティバルステージでは、県北私立幼稚園6園合同子育て支援イベント、県内スポーツ団体(バサジィ大分、大分三好ヴァイセアドラー、NBUチアリーディング部)とのタイアップイベント等、大規模なイベントの誘致を継続的に行っている。

<p>(2) 利用者の満足度</p> <p>利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。</p> <p>利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。</p> <p>利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。</p> <p>利用者への情報提供が十分になされたか。</p> <p>その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。</p>	20	4	16
<p>【評価の理由】</p> <p>フリーゾーンをメイン会場としたイルミネーション開催時にアンケート調査(年齢構成、イルミネーションの感想、森林・竹林公園の感想、来園のきっかけ・目的・要望等)を実施し、計937件の回答を得、利用者の要望等を把握している。</p> <p>利用者からの要望で最も多かったのが、アトラクション施設の増設であった。この意見に対する取り組みとして、夏休み期間限定アトラクションのウォータースライダーの新設を行い、利用者からも好評だったので、平成29年度も引き続きウォータースライダーの設置を行う。</p> <p>雨天時にも遊べるアトラクション等を設置してほしい要望もあったが、平成26年度末にパレード舞台に屋根を設置した効果で、利用者から「雨の日でも楽しむことができた。」という意見が増えた。</p> <p>竹林・森林エリアの利活用を推進するため、平成28年度から新たに同エリアを会場とした事業を実施(竹クラフト体験プログラムを計3回(10月、11月、3月に各1回ずつ)開催。)近隣の小学生やその家族を対象として、計126人の参加者が集まった。</p> <p>駐車場利用者のため、駐車場からエントランスまでのスロープを改良するなど、利用者の利便性・安全性の向上に努めている。</p> <p>ハーモニーランドの営業、イベント開催等の情報については、ホームページやフェイスブック、ツイッター等で毎日情報を発信している。</p> <p>繁忙期(GWや夏休み等)の終了後、接客部門を中心に全スタッフから意見を提出させ、毎週開催するミーティングで反省点や改善等について検討し、その都度対処している。</p>			
2 効率性の向上等に関する取組み	30		20
<p>(1) 経費の低減等</p> <p>施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。</p> <p>清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。</p> <p>経費の効果的・効率的な執行がなされたか。</p>	20	3	12
<p>【評価の理由】</p> <p>平成27年度から、設備の一部の点検を外注によらず直営とすることによる委託費節減及び機器運転時間の見直しによる電気料等の節減を行っている。</p> <p>具体的には、</p> <p>各種電気設備の絶縁調査測定作業等について社員による自主点検の実施</p> <p>水系噴水ポンプの稼働時間縮減、トイレ擬音発生装置取付、水栓蛇口のプッシュ式化による水道費の削減</p> <p>LED電球への交換、電気契約の見直し(2社間契約)による電気代の削減 等。</p> <p>上記の対応等によって、平成28年度の光熱費は5,813,554円で、平成27年度の5,743,348円とほぼ横ばいとなっている。(夏期のウォータースライダー設置に伴い、水道費が前年度より微増。)</p> <p>参考:H28水道費:1,513,136円(対前年比:113.57%)、H28電気料:4,300,418円(対前年比:97.49%)</p> <p>維持管理に係る再委託業務については、同一業者に継続して委託していることから、公平性や透明性、経済性を鑑みて、他業者との比較等を行う必要があると思われる。</p>			

<p>(2)収入の増加</p> <p>収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。</p>	10	4	8
<p>【評価の理由】</p> <p>県の収入である第3駐車場の使用料については、熊本地震の影響による入園者数の減少で平成27年度の8,561千円から7,218千円に落ち込んだ。</p> <p>地震の影響も鑑みて、新たな客層の開拓を目標にイルミネーションと関連して10月に仮装入場イベント(ハロウィンナイト)を開催し、収入を増加するための取組みを行った。</p>			
3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組み	30		24
<p>(1)施設の管理運営(指定管理業務)の実施状況</p> <p>施設の管理運営(指定管理業務)にあたる人員の配置が合理的であったか。</p> <p>職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか。</p> <p>地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。</p>	15	4	12
<p>【評価の理由】</p> <p>サンリオエンターテイメント(ハーモニーランド運営会社)の職員がハーモニーパークの電気、給排水、清掃、警備等の業務を兼任する体制を整えていることで、合理的な人員配置が図られている。</p> <p>接客部門を中心としたミーティングを週1回、外部講師を招いての接客研修を月1回行い、職員の資質・能力向上を図る取組みを行っている。</p> <p>また、全社員出席の全体会議を3ヵ月に1回開催し、社内全体の情報共有等も行われている。</p> <p>フリーゾーンに県北の小学生や幼稚園、社会福祉施設の遠足等の誘致を継続的に行ったり、平成28年度は実証林エリアで近隣の小学生やその家族を対象にした竹クラフト体験プログラム(里山利活用推進事業)を行う等、地域住民との協働が図られている。</p> <p>都市緑化月間にあわせた緑化啓発イベント「いきいきグリーンプランデー」を県と協力して実施している。当日のハーモニーランド入園料は無料とし、ハーモニーパーク内で緑化に関するスタンプラリーや大抽選会、また花の苗や苗木の無料配布を行い、緑化啓発と利用者の増加に努めている。</p> <p>また、例年開催にあたって協力を得ている県内団体((一社)大分県造園建設業協会、(一社)日本造園建設業協会大分県支部、農林中央金庫大分支部)との関係性をより深めている。</p>			
<p>(2)平等利用、安全対策、危機管理体制など</p> <p>関係法令(地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等)が遵守されているか。</p> <p>施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。</p> <p>利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。</p> <p>施設の管理運営(指定管理業務)に係る収支の内容に不適切な点はないか。</p> <p>管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。</p> <p>防犯や事故等の危機管理体制、防災士の配置など、防災に係る体制が適切であったか。</p> <p>防災に関する研修・訓練が効果的に実施されていたか。</p> <p>事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。</p>	15	4	12
<p>【評価の理由】</p> <p>法や条例に基づき社内規定を制定し、その周知及び順守徹底に努めている。</p> <p>緊急連絡体制やマニュアルを整備し、随時改訂を行っている。</p> <p>日常点検によって判明した管理物件の不具合箇所(軽微なもの)については従業員で迅速に修繕を行っている。</p> <p>独自の安全管理マニュアルに基づく定期点検に加え、消防自主訓練及び消防訓練、緊急避難訓練、AED講習を毎年度継続して行っている。</p> <p>赤十字救急法指導員を配置し、事故防止や安全対策に努めている。</p> <p>平成28年度に職員に防災士の資格を取得させ、防災に係る体制をより強化した。</p>			

## 【選定委員の意見】

--

## 【総合評価】

合計得点(100点満点)	76	評価ランク(A～E)	C
--------------	----	------------	---

## 【評価の理由】

4月に発生した熊本地震の影響により、ゴールデンウィーク期間中の利用者数が対前年比50%以下になるなど、年間の利用者数・収入は減少したが、ハーモニーランドの無料開放日(サンクス・パーティー)や年末カウントダウンイベント等、これまで好評により継続してきたイベントに加え、夏休み期間限定アトラクション(ウォータースライダー)の新設や新たなイベントの開催(ハロウィン・ナイト)等を行い、年間利用者数の目標数値の490,000人は達成した点は評価できる。

またハーモニーランド以外の県の指定管理区域については、フリーゾーンでのイルミネーション事業や、フェスティバルステージでの大規模イベントや遠足等の誘致を継続的に取り組み、平成28年度からは実証林エリアを会場とした里山利活用推進事業を行い、利用者増加につなげている。

ミーティングや研修、会議など社内での情報共有が図られており、日常的な点検や、訓練や講習等を継続して行っていることに加え、職員に防災士の資格を取得させるなど、社内全体で危機管理体制を構築している点は評価できる。

## 【今後の対応】

今後とも施設をより一層周知し利用促進を図ること、社内での情報共有を継続して行うことが望まれる。

施設管理については従業員による自主作業など、経費削減の努力をしながらよく行われているが、同一業者への継続した再委託業務については、他業者との競争など公平性や透明性、経済性を鑑みて、検討していく必要があると思われる。

## 【指定管理者評価部会の意見】

## 【評価】

- 1 新たなイベントを開催するなど、駐車場収入の増加に向けた取組は評価できる。

## 【意見】

- 1 竹林・山林エリアは、県としての利活用の目的や方向性を示したうえで、県とともに利活用策の検討を進めていただきたい。